

## 食事編⑨

お箸が上手に使えない子って



どんな時？こんな理由かな？

- 手の発達がお箸に必要な運動発達に見合っていない
- 落ち着いて座れない
- ▲ 物に注目することが難しい

こんな支援が助かります！

- 以下のヒントを参照。  
粗大な活動をとおして、手指に力をつけることや、指先を使った遊びに取り組んでみる。  
手指を発達させる遊びについては食事編①手づかみ食べが多く食具を使わない子って、⑧食器に顔を近づけて、前かがみの姿勢で食べる子って、を参照。
- 姿勢・運動編①姿勢が崩れてしまう子って、食事編①手づかみが多く食具を使わない子って②落ち着いて座って食べられない子って、を参照。
- ▲ 視力や、目の動きが上手かどうか確認する。  
間違い探し、絵からキャラクターを探す等注目して、細部に気が付くような遊びに取り組む。

## 考え方のヒント

お箸を上手に使えないお子さんは、手の発達が未熟である場合が多いです。お箸を使うこと自体が難しい時期と思って、無理せず、スプーン等でこぼさず食べ残しがなく食べ、食事時間が負担にならないことを応援しましょう。食事以外の場面に注目して、塗り絵などで、指先を動かして細かい部分を塗れるようになったところに、改めて箸にチャレンジするくらいの気持ちがよいと考えられます。

無理に箸を使わせることで、間違った使い方が身についてしまい、後から修正することが難しい場合があります。無理しないでその時にあった箸をつかってみるのもよいかもしれません。

参照：「参考資料 手の発達と使いやすいお箸の例」

参照：「食事編①手づかみ食べが多く、食具を使わない子って」